

I 産業の発展と雇用の促進

▼産業基盤の維持発展及び 京丹後型「新グリーン経済」の構築

小項目 計 4億1,969万円

新 名古屋・中京圏をターゲットにした新市場開拓推進 1,222万円 3月補正

京都縦貫自動車道等の全線開通により時間的距離の大幅短縮により、潜在的市場として魅力が高まってきている中京圏等に対し、企業・事業誘致、観光誘客、地場産品販売促進等を積極的に実施するため、名古屋市内の常設店舗内ブースでの地場産品展示販売、また、事務室を借り上げ、ビジネスマッチング等促進開拓員を設置する。

- ①プロモーション展開、ビジネスマッチング等促進開拓員の設置（953万円）
- ②企業誘致・ビジネスマッチング推進調査（119万円）
- ③京丹後ブランド発信・PR事業（150万円）

市内企業の業務拡大と雇用推進 7,055万円

新 ①地域経済活性化大規模設備投資事業費補助金 2,000万円 3月補正

新規雇用を伴い、地域経済循環を新たに創出する事業、または市外への販売額を増加させる大規模設備投資事業に対し支援を行い、市内経済循環等の拡大を図る。

※対象経費：大規模設備投資（土地・建物購入費以外） 補助率：1/3 限度額1,000万円/件

新 ②企業立地促進のための遠隔地通勤支援補助金 100万円 3月補正

平成27年4月1日以降に新たに雇用した従業員が通勤に要した京都縦貫自動車道の有料道路通行料に対し、企業が負担した額を全額支援。

I 産業の発展と雇用の促進

③機械金属業の販路開拓支援

330万円 3月補正

販路拡大・ビジネスマッチング・研究交流と促進するため、下記の事業を支援
○新分野・ビジネス開拓事業 ○新事業・ビジネスマッチング推進事業
○イノベーション・未来創造研究交流会開催

④市内への企業立地へ助成金を交付

3,325万円 (P.217)

立地企業への支援を行うことにより、企業による事業所の新設及び増設を促進し、もって設備投資の促進、雇用の創出・拡大、市内産業への経済的波及効果の創出を図る。 ※対象：7社（8事業所）

⑤商工業支援補助金

1,110万円 (P.216)

市内の商工業者等が行う新たな取り組みを支援し、地域経済の活性化を目指す。
○新商品開発（1/3） ○ジオパーク関連商品開発（1/2） ○創業支援（1/4） ○空き店舗等活用（1/4）
○創業支援（家賃補助）（1/2） ○国内外販路開拓（1/2） ○知的財産権取得（1/2）

⑥生産設備リース導入支援事業補助金の交付

90万円 (P.216)

市内製造業者が生産設備をリース方式で導入した際のリース料の一部を支援し、受注の確保、企業のオフバランス（負債を増加させない中）での設備導入を促進し、市内生産額の拡大と雇用の拡大・安定化を図る。
※補助率：1/5以内 交付限度額：5万円/月

⑦産学が連携した研究の促進支援

100万円 (P.221)

市内商工業者等とさまざまな技術シーズを保有する大学等研究機関との共同研究等を支援し、産学連携を促進し、企業の事業成長及び新分野への進出等を図る。 ※補助率：1/2

I 産業の発展と雇用の促進

U・Iターン等の促進による有能人材確保

148万円

新

①地元企業の魅力発信のための「企業ガイドブック」作成

81万円 (P.178)

地域の産業、企業を紹介するガイドブックを作成し、地元高校生、U・Iターン希望者等へ配布することにより、地域産業や地元企業の魅力を知ってもらい、地元就職を促進する。 ※作成予定：3,000部

②「U・Iターン就職促進事業補助金」の交付

50万円 (P.178)

市内企業が行う、市外で開催される合同説明会への参加、市内での自社説明会への参加者への旅費交付に係る経費への支援を行うことにより、企業の人材確保を通じて、U・Iターン就職を促進する。
※補助率：1/2以内 交付限度額：区分毎10万円/企業

③企業のインターンシップによる人材確保を支援

17万円 (P.178)

市内企業が行うインターンシップ受け入れに係る経費への支援をモデル実施することにより、インターンシップを活用した企業の人材確保を通じて、U・Iターン就職を促進する。
※補助率：1/2以内 交付限度額：交通費2~3万・宿泊費3~5万/企業

市内商工業者の経営支援

9,500万円

①商工業経営安定利子補給金の交付

5,300万円 (P.215)

市内商工業者が事業運営に必要な運転資金や設備資金を借入れ、その返済にあたり負担した利子を対象者に補給を行うことにより、資金調達の円滑化と借入負担の軽減を図り、経営安定化と成長を促進する。 ※補給後末端金利：1.7%

②信用保証料補助金の交付

4,200万円 (P.216)

市内中小企業者が事業資金の借入れにあたり負担した信用保証料を対象に補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入負担軽減を図り、経営安定化と成長を促進する。 ※H26年度特例補助率(一部補助率を5~15%引上げ)を継続

I 産業の発展と雇用の促進

2020年ターゲットイヤーに向けたシルク(織物)の推進

1,884万円 + α

新

①織物業の生産基盤の確保支援

1,300万円

3月補正

織物業の精算基盤を支えるため、設備の新設、更新及び改修等の経費を支援（補助率：3分の1、上下限：3～250万円）
補助対象：力織機、ジャガードコントローラー等

②都市部での「丹後ちりめん」PRによる全国発信

51万円

3月補正

「丹後小町踊り子隊」が首都圏等で開催されるイベントに出演し、「丹後ちりめん」と京丹後市の魅力を全国に発信する。

③「絹のふるさと京丹後推進会議」及び
「シルクのまちづくり市区町村協議会」への積極参加

133万円

(P.219)

2020年のターゲットイヤーに向け、織物業をはじめ絹を活用した様々な産業の創出、人材育成等を進めていくため、そのプロジェクトを検討する絹のふるさと京丹後推進会議を引き続き開催するとともに、シルクに関連する産業、歴史、文化を持つ市区町村等で組織する全国協議会へ積極的に参加し、シルク産業の発展を目指す。

④「丹後ファッションウィーク開催委員会」の継続支援

400万円

(P.218)

「丹後織物」の新しい魅力の発信による認知度の向上と日本最大の絹織物産地「丹後」の競争力強化を図るため、さまざまな取り組みを行う開催委員会を支援する。

<平成27年度の主な取り組み>

- 販路開拓事業（首都圏における丹後産地展の開催）
- デザインギャラリー1953企画展（国際的デザイナーとのコラボにより開発した商品の展示と産地PR）
- 産官学連携事業（関西圏のファッション関連校と連携した制作事業）
- 丹後織物製品開発・販売促進事業（東京の女子美術大学と連携した製品開発・プロモーション活動）

I 産業の発展と雇用の促進

新

⑤新シルク産業の創造（周年シルク産業への研究・挑戦）

未 定

追加補正

高生産性・付加価値化に向けた養蚕技術の研究開発等を行うため、京都工芸繊維大学、信州大学と連携し、織物業の精算基盤を支えるため、旧溝谷小学校施設を「新シルク研究開発・利用促進施設」として活用する。

※平成27年3月定例会に追加の補正予算を上程予定

「京丹後市新経済戦略推進会議」による各種施策の推進

102万円

(P.223)

本市商工業の総合的な振興を図るため、商工業総合振興条例に基づく「京丹後市新経済戦略推進会議」による各種施策の推進、評価、見直し等行うとともに、「京丹後経済成長戦略新懇話会」を開催（2回）する。

地域農業の担い手確保と特A米産地づくり

4,038万円

①地域農業の担い手を育成「丹後農業実践型学舎」の運営支援

970万円

(P.191)

京都府と京丹後市が共同で取り組む丹後農業実践型学舎事業を推進するため、丹後農業実践型学舎研修生滞在施設及び液肥散布車等を適切に運営する。また、新たな学舎用地となる国営農地を整備（府営事業）する。

拡

②地域農業の担い手を支援

「新規就農者実践農場整備支援事業補助金」の交付

240万円

(P.190)

地域農業の担い手の確保を図るため、農業研修を経て新たに農業経営を開始する者に対し、早期の経営安定化等を図るため、農業機械整備費の一部を支援する。 ※対象：10農場（丹後農業実践型学舎1期生10人分）

③青年就農者への支援

2,438万円

(P.191)

45歳未満の独立自営就農であることなど、一定の要件を満たす青年就農者に対して年間150万円（夫婦共同経営の場合225万円）を給付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 ※個人17人、夫婦2組

I 産業の発展と雇用の促進

④

④地域農業の維持・発展に向けた「地域農業振興事業補助金」の交付

300万円

(P.193)

市内の農地の活用や農作業の効率化等、省力化を図り地域農業を維持・発展させるため、既存制度を組替えて担い手・地域の共同組織など集落を基礎とする団体へ機械等の支援を行う。 ※補助率：事業費の1/2 限度額：50万円

⑤日本一の特A米産地づくり推進事業補助金

90万円

(P.194)

売れる京丹後米のブランド化を進め、日本一の特A米産地づくりの定着を図る。コシヒカリの良食味米の安定生産を推進するため、先進的な取り組みを支援する。 ※補助率：事業費の2/3以内 限度額：50万円（平成28年度まで）

京都そば（仮称）ブランド化への実証研究

41万円

(P.181)

そばの栽培による地域産物の育成及び農地の利活用を図り、都市部で「京都そば」（仮称）としてブランド産地化することを目指し、高付加価値化を図るため実証研究等を行う。

農家・漁家民宿を活用した地域活性化の促進

53万円

(P.186)

京丹後市全域を素晴らしい資源や魅力あるフィールドとして捉え、豊かな自然や地域の農林水産物を活用した農家民宿等の体験ツアーを実施するとともに、ツアー企画を旅行業者に提案し、今後の農家民宿等の軒数増加及び地域の活性化を図る。

宇川地区の農業用施設改修

3,866万円

(P.203)

丹後町尾和用水路は築後約60年が経過し、施設の老朽化による漏水等の補修、維持管理に困難を極めている状況であることから、用水路及び取水施設の改修を行い、農地の保全を図る。

※実施予定期間：平成26年度～平成31年度

I 産業の発展と雇用の促進

有害鳥獣被害への対策強化等

1億 701万円

①

①農作物等被害の軽減を目指した 有害鳥獣捕獲

8,555万円

(P.204)

深刻な有害鳥獣による農作物等の被害軽減を図るため、国や府の駆除単価上乗せ制度を活用しながら、有害鳥獣駆除を猟友会に委託するとともに、丹後2市2町及び兵庫県と連携した広域捕獲を実施する。また、狩猟免許取得補助等も行い捕獲人員の確保・強化も行う。

②サルの個体数調整捕獲の実施（野生鳥獣被害対策協議会負担金）

158万円

(P.204)

サル被害軽減のために実施する個体数調整捕獲及び捕獲後の個体判別を行う京丹後市野生鳥獣被害対策協議会へ業務に必要な経費を支出する。（平成26年度から継続実施） ※平成27年度は、A～E群のサルの群れの内、A・Dの2群を捕獲予定

③「サル追い払い隊」パトロール等による被害軽減

835万円

(P.204)

サルの個体数調整実施に伴い「サル追い払い隊」を再編するとともに、地域ぐるみのサル追い払い対策を推進する。
※追い払い隊：3班/1班4人体制

④

④「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の運営

1,119万円

(P.205)

捕獲した猪・鹿肉の食肉処理を行う「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」を安定運営し、猪・鹿肉の特産品化を推進する。

⑤

⑤ジビエ（猪・鹿肉）特産品の販路拡大

34万円

(P.205)

ジビエ（猪、鹿肉）を市の特産物として振興するため販路拡大を図り、加工品製造業者や都市圏への販売促進を行う。また、市内、都市圏で開催されるイベントに参加しPRを行う。

I 産業の発展と雇用の促進

新	木育ネットワークの推進を図り森林の大切さを市民へ発信	30万円	(P.206)
<p>市民の森林への理解を深めるため、森林にふれあい親しむことを目的にイベント等を通じて木工教室等を実施する。また、森林の持つ公益的機能の学習（木育）を通じて、市内森林整備の必要性や地域の木材利用の意義等について普及啓発を行う。</p>			
新	地域漁業の担い手を育成「海の民学舎」の運営支援	15万円	(P.209)
<p>活力ある漁業・漁村を実現するため、次世代の漁業・海業経営者を育成するため「海の民学舎」（海洋センター内）の運営負担金を支出する。 ※海の民学舎運営：漁業団体、沿海市町、京都府による運営協議会</p>			
拡	海洋資源を活用した海業推進に向けた調査等の実施	154万円	(P.210)
<p>本市の海業の推進を図るため、「旬の魚料理モデルツアー」（仮称）を実施する団体を支援するほか、犬ヶ岬周辺海域の豊かな魚影や海蝕洞門をマリンレジャー等の観光資源として活用するための調査を行う。</p>			
新	袖志漁港中央防波堤改修による高波浪対策の実施	1,000万円	(P.89)
<p>丹後町袖志漁港内及び袖志地区における高波浪対策として改修工法等を検討するための調査設計を実施し、地域住民の生活の安心・安全を目指す。 ※工事：平成28年度以降実施予定</p>			
漁港の機能保全 ー水産基盤ストックマネジメントー		2,160万円	(P.212)
<p>漁港施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図るため、間人漁港防波堤の長寿命化対策の実施設計、浜詰漁港の航路埋没対策の調査検討を行う。</p>			

I 産業の発展と雇用の促進

▼次世代エネルギーを活かした環境未来都市

小項目 計 3,814万円

新 地域エネルギーの利活用に向けた
分散型エネルギーインフラ導入可能性の調査 500万円 (P.165)

自立的で持続可能な地域エネルギーの循環を検証し、地域エネルギーを地域内利活用し得るシステム構築へ向けた事業の事業性（社会的意義の有無、経済性）及び実効可能性の調査を国の補助制度を活用して実施する。

新 地域バイオマス下水汚泥等の資源化への検証 234万円 (P.166)

更なる資源循環を目指し、地域バイオマス資源である下水汚泥等を有効活用するため、発酵乾燥による資源化に向けた検証事業を行う。

エコエネルギーセンターのさらなる活用 914万円

新 ①環境循環都市の実現へ向けた「長期修繕計画」の作成 297万円 (P.162)

『環境循環都市』の実現に向けて中核施設となるエコエネルギーセンターの安定的な施設運用を図るため、施設・設備の総合点検を実施し、今後30年間にわたる中・長期の修繕計画を作成する。

②生ごみ全量資源化へ向け資源循環の推進 617万円 (P.164)

市内の生ごみ資源化や食品リサイクル液肥の利用促進による循環型社会の構築へ向け、一般家庭生ごみ分別世帯の増加を目指す。
※平成27年度目標：1,000世帯以上

I 産業の発展と雇用の促進

太陽光発電等の再生可能エネルギー導入促進支援補助金の交付 300万円 (P.165)

市域への再生可能エネルギーの導入を促進するため、市民太陽光発電所の売電収益の一部を充て、太陽光発電設備、薪等ストーブ、蓄電池、省エネ設備等の導入経費の一部について補助金を交付する。

新 「循環型社会形成推進地域計画」の策定 330万円 (P.171)

峰山クリーンセンターの平成29年度以降の延長稼働に伴い、効率化・長寿命化のための改良工事が必要となることから、廃棄物処理にかかる方向性等の設定、今後必要な施策等を位置づける「循環型社会形成推進地域計画」を策定する。
※平成26年度～平成43年度まで債務負担行為を設定

美しい景観の維持へ 海岸への漂着物回収の実施 1,381万円 (P.163)

海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用した海岸漂着物の回収及び処理を行い、海岸漂着物対策を推進する。 ※対象海岸：海水浴場15、一般海岸4

拡 コウノトリと共生するさとづくり事業補助金 155万円 (P.183)

「京丹後市生物多様性を育む農業推進計画」に基づき、既存制度を組替えて環境整備、営農活動の両面から生物多様性を育む農業の推進を行う市内農業者等を支援する。
※補助内容：水田ビオトープ設置ほか、地域資源循環型農業の推進

項目合計 4億5,783万円 + α

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

▼京丹後ならではの観光・交流による 極上のふるさとづくり

「海の京都」推進関連（主なもの）

2億8,124万円

新

誘客促進に向けた「海の京都博(仮称)」開催への分担金

500万円

(P.232)

「海の京都」の認知拡大と誘客促進に向けた「海の京都博（仮称）」を開催するため、各市町（北部7市町）の基本分担金（300万円）とオープニング等会場市町分担金（200万円）を支出する。

山陰海岸ジオパークを活用した観光誘客

2,465万円

新

①「APGN山陰海岸シンポジウム」「JGNガイドフォーラム」の開催

172万円

(P.233)

第4回「アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）山陰海岸シンポジウム」及び「日本ジオパークネットワーク（JGN）ガイドフォーラム」を開催し、国内外の参加者へ山陰海岸ジオパークの様々な魅力を発信する。

※開催：9月15日～16日

②ジオパーク宝探しイベント等のジオパーク普及・啓発

631万円

(P.233)

「海の京都博（仮称）」期間中における本市の誘客イベントの一つとして、ジオパークを活用した観光振興として宝探しイベントをはじめ、ガイド養成講座（6回）、小学校理科体験など普及・啓発を積極的に行う。

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

③山陰海岸ジオパークの拠点施設等の運営

773万円 (P.233)

本市のジオパーク拠点施設「道の駅てんきてんき丹後」での観光客等へのおもてなし、また、山陰海岸ジオパーク推進協議会との連携により本市のみならず山陰海岸ジオパーク全体としての魅力を広く世界へ発信する。

新

④久美浜湾での周遊観光の実証実験

889万円 (P.232)

「海の京都」京丹後市の拠点エリアである久美浜湾を中心とした周遊観光について、バス、船を活用した二次交通の整備を図るため、実証実験を行う。 ※「海の京都観光圏」の取組事業として海の京都観光推進協議会への負担金

山陰海岸ジオパークの魅力を高める施設の整備

2億3,470万円

新

①「海の京都」推進に向け「夕日広場」(仮称)を整備

1,000万円 (P.232)

京都府の「海の京都」構想に基づき、「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた『夕日広場(仮称)』(網野町浜詰地内)を平成28年度中の完成を目指し、実施設計を行う。

拡

②美しい久美浜湾を眺望できる「かぶと山園地」の整備促進

1億3,010万円 (P.234)

「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた、かぶと山展望台へのルート整備として、トイレや遊歩道の実施設計を行うとともに、電線地中化のための負担金を支出するなど、着実に整備を進める。 ※平成28年度完成(予定)

新

③新たな無電柱化工リア整備のための準備

770万円 3月補正

網野町浜詰地内で実施している市道牛揚本線での無電柱化事業が平成26年度に終了することから、次の整備予定である市道新開地通線での無電柱化事業の実施のための準備調査(予備設計)を行う。

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

新 ④海水浴客等の利便性を図るため海浜施設を改修 8,690万円 (P.90)

老朽化した海浜施設の改修を行い、海水浴客等の利便性及び快適性を確保し、観光誘客を推進する。
※予定：5か所（丹後町中浜・久僧・上野・平、網野町浜詰）

ビーチを活用した「海の京都」の推進 1,689万円

新 ①ビーチライフ推進 新たに「ビーチスポーツフェスティバル」の開催 1,100万円 (P.233)

年中にぎわう日本一の浜辺づくりを推進するため、ビーチスポーツイベントの開催を支援することにより、交流人口の増加とともに地域の活性化を図る。 ※ビーチスポーツフェスティバル開催：平成27年7月（予定）

②にぎわう浜辺づくり「サンセットビーチランin京丹後」の開催 350万円 **3月補正**

ビーチを活用した新たな観光誘客のため、昨年度に引き続き2回目となる「サンセットビーチランin京丹後」を実行委員会を組織し実施する。 ※平成27年6月20日実施（予定）

新 ③美しい白砂の保全と活用に向け「日本一美しく長い白砂海岸のまち協議会」を設立 35万円 (P.233)

年中にぎわう日本一の浜辺づくりを推進するため、全国にひろがる美しい白砂海岸をもつ自治体とともに、その保全と活用を展望する協議会を設立する。 ※協議会開催予定：平成27年7月

④砂浜海岸遊歩道への誘導サイン製作等による活用推進 204万円 (P.233)

久美浜町小天橋から網野町浜詰へ向かう海岸遊歩道に利用者の利便性を更に高めるための案内サインを設置するとともに、砂等が堆積した場合の砂撤去をするなど、遊歩道を安心して利用できるように努める。

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

京丹後市観光協会による誘客事業等への支援

5,630万円

①観光情報センター運営など観光協会事業への支援

3,728万円

(P.226)

本市の観光誘客の中心となる京丹後市観光協会の活動を財政的に支援し、観光立市の実現を目指す。
○観光情報センター運営（網野駅構内） ○誘客促進活動（誘客活動、広告宣伝、海開き、支部活動等）

②更なる観光誘客のための観光商品の企画造成

1,441万円

3月補正

京都縦貫自動車道の全通を絶好の機会と捉え、このチャンスを活かすべく団体宿泊プランの造成、分宿による受入体制づくりのほか、着地型旅行商品活用促進など現地に来てからでも予約できる体験型観光商品を造成し、その受注管理体制等の整備を図る。

③インバウンドの推進

211万円

3月補正

海外からのモニターツアーやメディアツアーの受入を積極的に行うほか、雑誌などのへの広告も併用するなど、京丹後市の魅力のPR事業を実施し、外国からの観光客増加を目指す。

④広域での誘客活動の推進

250万円

3月補正

本市の魅力を広く周知・宣伝するため、観光パンフレットや観光ポスターの作成を行い、国内誘客の推進を図る。

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

旅行者等への積極的な「おもてなし」

1,741万円

新 ①外国人観光客への配慮

299万円 3月補正

本市を訪れる外国からの旅行者等への利便性向上を図り、安心して観光を楽しんでいただけるように商工観光業者等を対象とした外国語セミナーの開催、外国語表示マニュアル等の作成のほか、外国人観光客を受け入れるための体制整備経費の一部を支援する。 整備例：施設内案内看板・HP等の多言語化、Wi-Fiアクセスポイントの整備等

新 ②観光誘客イベント映像配信等 観光情報の発信

949万円 3月補正

市内で開催される観光誘客イベント等をニコニコ動画生放送で配信するほか、京丹後まるごと観光パンフ（秋冬版、春夏版）を作成し本市の旬な魅力を広く発信するとともに、観光パンフレットと連動したスマートフォン用の外国語にも対応した観光アプリを開発し、本市を訪れる旅行者等の利便性を高め、さらなる観光誘客に繋げる。

新 ③松本重太郎翁の映像のコンテンツ化による更なる魅力発信

212万円 3月補正

平成26年12月30日にテレビ放映された松本重太郎翁のテレビ番組「関西偉人伝説～新しいニッポンを作った謎の男」を短編DVD化し、本市を訪れる観光客等へ新たな本市も魅力としてアピールし、観光推進に繋げる。

新 ④「おもてなしエイドステーション」（仮称）の認定

108万円 3月補正

自動車等で本市を訪れる旅行者に対して、観光情報の提供に協力いただける市内コンビニエンスストア等を「おもてなしエイドステーション」（仮称）に認定し、市内の見どころ等についての着地型観光マップを配架し、ともに観光推進を図る。

新 ⑤日本経済の立役者「松本重太郎100年プロジェクト」の支援

173万円 (P.227)

丹後市間人出身の、明治期の日本経済の立役者である松本重太郎翁の没100年、生誕170年に際し、松本重太郎ゆかりの地として、翁の気風を受け継いで、地元地域の活力を作り出すとともに、観光誘客に取り組む実行委員会を支援する。

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

「スポーツ」を通じた観光誘客

1,301万円

①歴史街道丹後100kmウルトラマラソン（国際親善大会）

500万円 (P.232)

歴史街道丹後100kmウルトラマラソン（国際親善大会）の開催を支援し、四季型・滞在型観光を推進する。
※開催予定：平成27年9月19日（土）～20（日）

②

丹後半島ラリーの開催を支援

130万円 (P.232)

ラリー選手権ならではの迫力あるモータースポーツの大会の開催を支援することにより、全国へ本市をPRするとともに、観光客誘致を図る。
※平成27年度は年2回開催予定（8月末、10月末）

③箱根を超える大会へ「丹後大学駅伝」の開催支援

90万円 (P.232)

丹後大学駅伝（関西学生対校駅伝競走大会）の開催について、後援会への負担金の支出及び職員旅費を計上し、将来、箱根駅伝を超える大会となるよう運営に寄与する。
※11月22日（予定）久美浜公園～宮津市役所 80.2km

④スポーツイベント等を発信する「京たんごスポーツ」の発行

581万円 (P.231)

スポーツに親しむ気運醸成、ジュニア選手の育成等を目指すとともに、新たな観光・交流人口の拡大を推進するため、市内スポーツイベント等を紹介する広報紙を発行しスポーツを活用した総合的なまちづくりを積極的に行う。
※隔月発行

⑤

Sea級グルメ全国大会の誘致活動

58万円 (P.226)

「Sea級グルメ第8回全国大会」（平成28年度開催）の京丹後市開催を目指し、平成27年度大会開催市への視察・出店等を行う。
※平成27年度：岩手県宮古市（9/19～20）、三重県鳥羽市（10/31～11/1）

Ⅱ 特色や魅力を活かした取組の促進

- | | | | |
|--|------------------------------------|---------|---------|
| 新 | 伝統産業等の地域資源を活用した
「教育旅行モデルツアー」の実施 | 39万円 | (P.229) |
| 市内の伝統産業等の地域資源を活用した教育旅行モデルツアーを実施し、誘客促進に向けた新たなツアー構築を図る。
※丹後ちりめん見学・体験、農業体験、田舎体験、民泊体験等 | | | |
| 新 | 映画等の撮影誘致へ「ロケーション見学会」の実施 | 17万円 | (P.230) |
| 京丹後市への交通アクセスの改善を背景に、京阪神の映像制作会社等を対象に時代劇映画やテレビドラマの撮影誘致を目的とした現地見学会を実施する。
※平成27年秋開催予定 | | | |
| 新 | 丹後・名古屋（東海）地方
文化・方言等の研究シンポジウムの開催 | 114万円 | (P.298) |
| 丹後と名古屋（東海）地方の方言等が類似していることから、丹後との文化・方言・交流について調査研究を行い成果を報告書として刊行するとともに、その成果により京丹後市と名古屋においてシンポジウムを開催する。 | | | |
| 新 | 丹後の文化を広く発信 京都市内での「丹後展」開催 | 2,874万円 | (P.301) |
| 京都縦貫道全線開通にあわせ、丹後の歴史・文化を広く周知するため京都文化博物館において丹後の至宝を一堂に集め展示公開し、丹後の魅力を発信する。
※平成27年12月5日～平成28年1月17日 京都市：京都文化博物館 | | | |

項目合計 3億 9,916万円

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

▼生涯現役で活躍する健康長寿社会の形成

小項目 計 11億2,613万円

健康長寿のまちづくりの推進

626万円

新

①「全国ご当地健康体操サミット」など 健康長寿多世代交流事業の実施

303万円 3月補正

百歳福寿の多い本市の特長をさらに伸ばすとともに、市民誰もが生涯にわたって健康で生きがいを持ちながら活躍できる「生涯現役社会」の実現に向け、フォーラム、百寿人生レシピ集発行などを行う。

- 「健康日本21京丹後大会第8回健康大長寿のさとづくりフォーラム」（160万円）
平成27年11月上旬開催（予定）
内容：全国ご当地健康体操サミット、講演会、市民団体ステージ発表など
- 「百寿人生のレシピ集」冊子の制作（137万円）
4,000部発行（予定）
※健康大長寿のさとづくりフォーラムで披露（予定）
- 「超高齢者実態調査」の実施（6万円）

新

②健康長寿のさとを目指し「健康増進計画・食育推進計画」を策定

118万円 (P.145)

現在の「健康増進計画」と「食育推進計画」を一体とした「京丹後市健康増進計画・食育推進計画」（平成29年度～平成38年度）を平成28年度中に策定するため、健康と食に関する市民アンケート調査を実施する。

※アンケート：2,000人

拡

③健康“楽歩里”ポイント事業の実施

71万円 (P.147)

ウォーキングを中心とする健康的な生活習慣の定着、継続に向けた機運の醸成、動機づけを支援し、健康な市民を増やすことにより、健康寿命の延伸につなげるために健康ポイント事業を実施する。

※予定期間：5月1日～11月30日

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

④地域の健康仕掛け人「健康づくり推進員」の活動支援 134万円 (P.148)

「京丹後市健康増進計画」に基づき、市民の「自らの健康は自ら守る」という意識を高め、地域での健康づくりをより積極的に進めるため、健康づくり推進員（第3期2年目）の育成及び地区活動の支援を行う。
※推進員：221人（平成27年1月末）

市民の健康を全力サポート

1億7,031万円

新

①高齢者への成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種

6,469万円 (P.92)

個人の発病またはその重症化を防止するとともに、まん延の予防に資することを目的に、65歳以上の全ての高齢者（市民）を対象にした成人用肺炎球菌予防接種を実施する。
※接種対象年齢制限を廃止（平成26年度は一定要件該当者のみ対象）

拡

②市民が健康で暮らすための 総合検診の実施

1億 562万円 (P.152)

健康診査とがん検診を一度に受診できる総合検診として、各地域で集団検診の方法により実施しているが、平成27年度から検査項目に血清クレアチニン等の検査を追加し、腎機能障害の早期発見・早期治療、生活習慣の改善につなげる。

拡

自殺ゼロのまちづくり（自殺予防）の推進

320万円 (P.145)

「京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、関係機関・団体が連携し、自殺の危険性の高い人の早期発見・早期対応を図るため、ゲートキーパー研修や個別相談支援の充実に努め、自殺ゼロのまちづくりを推進する。また、自殺のない社会づくり市区町村会のホームページを改修し、政策の共有を推進する。

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

地域医療の充実を目指して

9億4,636万円

①

①公的病院の運営支援

6,005万円 (P.154)

地域において必要とされる不採算医療等の機能を担う公的病院等について、その機能を発揮する上で必要な経費の一部について補助を行う。

②病院事業会計への繰出金

8億4,291万円 (P.156)

市立病院（弥栄病院、久美浜病院）の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰出す。
※弥栄病院：419,511千円 久美浜病院：423,395千円

③医療確保奨学金等の貸付金

2,040万円 (P.156)

市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び確保を図るため、市立病院等の地域医療機関における医師の業務に従事しようとする意思を有する者に対し、奨学金を貸与する。
※一般医師：20万円/月、小児科・産婦人科：25万円/月

④地域医療体制の整備支援

1,922万円 (P.154)

市民が安心して生活できる医療環境を確保するため、民間病院や診療所の施設整備等を支援する。
※丹後ふるさと病院、宇川診療所

⑤休日応急診療体制の確保

378万円 (P.155)

市民が安心して生活できる救急診療体制を確保するため、休日における急病患者的の診療業務を医療機関に委託実施する。

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

▼夢と希望をもって、未来に飛躍する人づくり

小項目 計
11億 6,116万円

文化・芸術を活かしたまちづくり

2,085万円

新

①京丹後文化のまちづくり実行委員会主催「郷土芸能祭」の開催支援

17万円 (P.56)

京丹後文化のまちづくり実行委員会が行う市内各地域の祭事に根ざした郷土芸能を実演発表する「郷土芸能祭」の開催を支援する。
※平成27年10月開催予定

新

②文化芸術創造発信研究への補助金

30万円 (P.56)

(公財) 京都府丹後文化事業団が行う地域発の地域住民による演劇・音楽・お笑い等の文化芸術を創造発信していくための研究調査を支援する。

新

③郷小学校跡地の総合展示施設化検討
—夢まち創り大学拠点との併用—

323万円 (P.295)

学校跡地の活用として、民俗資料や絵画等の美術資料等の保全と公開、他の複合的用途（夢まち創り大学の活用等）も考えた総合展示施設の整備に向け、検討委員会を設立し基本構想を策定する。

拡

④網野銚子山古墳の整備

1,715万円 (P.300)

網野銚子山古墳の史跡指定地の公有地化がほぼ完了したため、整備に向けて前方部の範囲確認の発掘調査と整備計画地内の詳細な測量調査を実施する。

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

子育て支援の総合的な推進

3億8,097万円

①中学校卒業まで 子ども医療費の給付

2億 296万円 (P.130)

乳幼児・小学生・中学生の健康の保持増進と子育ての経済的負担の軽減を図るため、医療費の一部を現物給付の方法により支給する。 ※自己負担：1医療機関ごとに200円/月

拡

②放課後児童の健全育成事業

1億3,020万円 (P.133)

保護者の就労や疾病等により、学校の放課後、長期休業中等に家庭で保育ができない児童に対し、遊びや生活の場を提供し児童の健全な育成を図る。(市内10か所で実施) ※対象児童：小学6年生までに拡大(平成27年4月～)

拡

③子育て支援センターの運営

1,548万円 (P.140)

地域の子育て支援の拠点として、久美浜のかぶと山こども園内に市内8か所目の支援センターを開設し、児童相談や子育て関連情報の提供、子育て世代の保護者や子ども同士の交流の場の提供など、在宅で子育てしている保護者と子どもたちの支援を行う。

④峰山こども園 送迎バスの車庫整備

2,732万円 (P.141)

峰山こども園の送迎バスの車庫を整備する。(峰山町安地内)
※バス4台収納、車庫約128㎡

新

⑤病後児保育の実施

501万円 (P.142)

病気の回復期にあるが集団保育が困難な児童を一時的に預かる場を確保し保育することで、保護者の子育てと就労等の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。 ※私立ゆうかりこども園内(峰山町)に平成27年11月に開設(予定)

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

教育環境の整備

4億5,020万円

新

①小学校普通教室等への空調化整備の実施

850万円

(P.91)

よりよい学習環境の推進を図るため、再配置した小学校から普通教室等の空調化整備を進める。
※対象6校：大宮南小、網野南小、島津小、弥栄小、かぶと山小、高龍小

新

②中学校普通教室等の空調化整備の実施

2億8,300万円

(P.91)

よりよい学習環境の推進を図るため、中学校の普通教室等の空調化整備を進める。
※対象4校：大宮中、網野中、丹後中、弥栄中

拡

③小・中学校の天井材等の落下防止対策

2,520万円

(P.91)

平成26年度の点検結果に基づき、ランチルームや体育館の吊り天井等に対し、地震による天井部材等の落下防止工事を実施し、児童・生徒等の安全確保を図る。 ※小学校：14校 中学校：3校

④小学校施設の耐震改修等

1億3,180万円

(P.271)

学校施設耐震化計画により、吉原小学校（峰山町）の耐震改修等工事を実施する。
※平成26年度から2か年で実施

新

⑤安全な車両運行に向けスクールバス整備等臨時職員の任用

170万円

(P.268)

スクールバス及び市公用車の車両管理を適切に行うため、車両整備の知識・技術を有する臨時職員を任用し、安全な車両運行につなげる。

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

学校教育の充実

1億6,281万円

①教育支援センターの運営

906万円 (P.264)

不登校またはその傾向にある児童生徒に対し、在籍校と連携し、基本的な生活習慣の改善、社会性・協調性の習得、基礎学力の補充を、個々に応じて段階的に支援することにより、学校生活への復帰と社会的自立を支援する。

※場所：峰山織物センター内

②小中一貫教育の推進

105万円 (P.265)

平成26年度に峰山中学校区、網野中学校区が小中一貫教育実施校となったのに続き、平成27年度は大宮中学校区も小中一貫教育実施校とする。また、平成28年度には市内のすべての中学校区で小中一貫教育を実施できるよう取組を進める。

③学校支援地域本部事業の推進

533万円 (P.265)

「教育と学びのまち京丹後」を実現するため、さまざまな特技や技能をもった地域の方に、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて、学習支援やクラブ活動支援などを行う。

※ボランティア登録数：470人（平成27年1月末）

拡

④「教育と学びのまち 京丹後」実現へ向けた学習支援体制の整備

286万円 (P.266)

「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学習支援ボランティアなどの市民力を生かすとともに、放課後・土曜日を活用した教育活動や情報メディアを使った学習支援など、学びを支援する機会や仕組みづくりを構築するための実証研究を行う。

⑤幼・小・中学校へのスクールサポーターの設置

1億4,451万円 (P.276)
(P.282)
(P.284)

児童・生徒一人ひとりの課題や特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努めるため、全ての幼稚園、小学校、中学校にスクールサポーターを配置し、子ども達の学習等を支援する。

幼稚園（17人）：3,940万円 小学校（30人）：5,701万円 中学校（22人）：4,810万円

Ⅲ 未来へのまちづくりへの振興

新	旧佐濃小学校校舎の解体	1億2,500万円	(P.268)
----------	-------------	-----------	---------

学校再配置に伴い使用されなくなった旧佐濃小学校校舎を解体する。

	高齢者の学習意欲の向上へ 高齢者大学・大学院の開催	627万円	(P.287)
--	---------------------------	-------	---------

高齢者の交流と社会参加の促進、生きがいづくりに貢献するため、各地域に学園を設置し高齢者大学を実施する。また、成美大学と北部連携機構と連携・協力し、高齢者の学習意欲の向上等を図るため、高齢者大学院（成美大学を会場）を開設する。

	スポーツを通じた若い力の育成	1,506万円	
--	----------------	---------	--

新	①全国大会等出場選手への激励金制度創設	50万円	(P.268)
----------	---------------------	------	---------

スポーツ等の国際大会や全国大会に出場する小・中学生及び高校生の選手を激励するため、教育長交際費に新たに激励金を創設する。

新	②全国高等学校総合体育大会（カヌー競技）の開催	1,456万円	(P.305)
----------	-------------------------	---------	---------

全国高等学校総合体育大会カヌー競技が久美浜湾カヌーレーシング競技場で開催されるため、会場の施設・設備等を整備するとともに、京都府と協力して大会の運営を行う。

※平成27年8月4日～8月8日（5日間）

項目合計 **22億8,729万円**

IV 安全・安心のまちづくりの促進

▼災害に強く、安心して暮らせるまちづくり

小項目 計 4億 5,027万円

災害に強いまちづくりを目指して

3億3,159万円

新

①市民の安全確保へ向け「ハザードマップ」の全戸配付

ー土砂災害・洪水・内水ー

2,000万円

(P.84)

京丹後市内の土砂災害防止法に基づく基礎調査が終了したことを受け、平成19年度に作成した土砂災害・洪水ハザードマップの更新を行うとともに、市街化の進展や集中豪雨の増加に伴う浸水被害の軽減を図るため、内水による浸水情報も新たに掲載する。

拡

②河川施設の修繕・維持補修

2,065万円

(P.244)

通水等に支障が生じている河川施設の修繕及び維持管理を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。

※実施予定：11河川

③網野地域の内水処理対策

2億8,896万円

(P.245)

網野町浅茂川地区の内水処理対策として、内ヶ森第1ポンプ場の建設工事を推進し、平成28年度末供用開始を目指す。また、網野町網野地区小柱川排水区における内水被害対策工事実施に向け事業化を進める。

④自主防災組織の活動を支援

198万円

(P.259)

災害に強いまちづくりを推進する観点から、自主防災組織の育成を図りその活動を支援するため防災資機材等購入に対して補助金を交付する。(補助率:1/2、上限額:8万円) ※組織数:130、構成区数:140区(平成27年1月末)

IV 安全・安心のまちづくりの促進

防犯体制の強化

7,980万円

① 「LED防犯灯」の設置支援

7,280万円 (P.86)

夜間の犯罪防止及び通行の安全確保、環境にやさしいまちづくりの推進を図るため、LED防犯灯の新設・交換等を積極的に推進する。 ※予定：補助金（新設150か所、交換3,500灯）、市設置：307灯

②市内主要交差点等への「防犯カメラ」設置

700万円 (P.87)

犯罪への抑止力を高め防犯対策の充実と犯罪発生時における迅速かつ的確に対応により、市民生活の安心・安全の向上を図るため、市域に出入りする主要道路の交差点等に防犯カメラを設置する。 ※設置予定：10か所（10基）

③ 鉄道利用者の安全を市内各駅へ「AED」を設置

210万円 (P.84)

鉄道利用者の安心・安全の向上を図るため、市内各駅（無人駅のかぶと山駅除く）にAEDを設置する。
※市内7駅の鉄道乗降者数は年間約40万人

消防資機材の充実による消防力の強化

3,678万円

①消防ほふく救助訓練用煙道の更新

292万円 (P.252)

倒壊家屋、ガレキなどに阻まれる狭隘空間への救助進入訓練等に必要な器材「ほふく救助訓練用煙道」について、経年劣化が著しく訓練にも支障をきたしていることから更新する。

②高規格救急自動車の整備

3,386万円 (P.256)

病気や災害等、緊急対応に欠かすことのできない峰山消防署竹野分遣所に配備している高規格救急自動車（H17年配備）を更新する。

IV 安全・安心のまちづくりの促進

▼地域生活に活力を生む社会基盤の着実な整備

小項目 計
9億 3,114万円

拡	安心安全な道路環境の整備	6億9,215万円
拡	①地域協働型小規模公共事業	4,780万円 (P.238) (P.239)
<p>安心安全で快適な生活環境の保全及び地区要望の実現を図るため、地区要望のうち市道補修等の小規模な公共事業について、市民局と地域住民が主体となって実施する。 ※対象事業費：概ね30万以下を50万円以下へ拡充</p>		
拡	②市道の新設改良整備	1億9,999万円 (P.239) (P.240)
<p>市道の新設改良工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。 ※道路改良：継続5路線、新規14路線</p>		
新	③児童の安全確保へ 通学路安全確保の推進	1,400万円 (P.90)
<p>通学路の安全点検により対策が必要となった箇所にカラー舗装や路面標示などを行い、通学路の安全確保を図る。 ※予定：市道10路線（峰山町5、網野町2、弥栄町3）</p>		
	④交通安全施設等の整備	950万円 (P.238)
<p>市が管理する道路にカーブミラーや転落防止柵の設置を行い、道路利用者の安全確保を図る。</p>		

IV 安全・安心のまちづくりの促進

拡

⑤社会資本整備総合交付金事業

3億3,238万円 (P.240)

社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良工事及び橋梁修繕工事を行い、道路ネットワークにおける生活道路の安全性と利便性を高める。 ※道路改良：継続6路線、新規2路線 橋梁修繕：27橋

拡

⑥社会資本整備総合交付金事業（効果促進事業）

8,848万円 (P.241)

道路施設の適正な管理を行うために、社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁、舗装、その他附属物の点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕計画を作成する。 ※橋梁点検230橋、舗装点検230km、計画策定515km、道路附属物点検等

公共交通の更なる充実へ

2,432万円 + α

新

①快適な移動空間の提供へ「KTR再生支援事業補助金」の交付

1,191万円 3月補正

観光客等がディスカバリー車両の移動空間を楽しく快適に過ごすことができるようデザイン車両への改修を行い、府県及び沿線自治体とともに支援する。

②京都丹後鉄道「高齢者片道200円ルール」の実施

1,000万円 (P.77)

「京都丹後鉄道」の利用促進を図るため宮津市、伊根町、与謝野町と連携し、市内高齢者（65歳以上）を対象とした「片道200円ルール」を実施することにより、高齢者の外出機会を増やし、健康づくりに寄与する。

※平成23年度以降、継続実施

③高齢者運転免許証の自主返納を支援

180万円 (P.78)

65歳以上の高齢者の交通事故防止と公共交通利用者を増やすため、運転免許証の返納者に対して、京都丹後鉄道、丹海バスの定期券、市営バス回数券（6か月分）のいずれかを無料で支給する。

IV 安全・安心のまちづくりの促進

新 ④新たな公共交通としてのEVタクシー運行支援 未定 追加補正

環境にやさしいクリーンなエネルギーによるEV車両のタクシー運行を支援し、市民や観光客の利便性を高める。（運行事業者への運営補助、EV車両導入支援補助、EV充電設備整備補助）

新 ⑤「地域活性化モデルケース」の実現へ
「地域活性化モデル」プロジェクトの推進【再掲】 61万円 (P.63)

平成26年5月に国の選定を受けた地域活性化モデルケースとこれを基に策定した「地域再生計画」が認定（平成27年1月）されたことに伴う、新シルク産業の創造、新公共交通体系の構築等の事業を具体的に検討・推進する。

市民に愛される都市公園の整備 5,281万円

新 ①快適な公園利用のために「峰山途中ヶ丘公園駐車場」を拡張 4,220万円 (P.91)

公園の利用促進と来場者の駐車場不足を解消するため、公園の東側の山林や農地部分に駐車場を整備する。
（面積：0.9ha、駐車可能台数：大型9台、普通車226台）
※平成27年度：測量・設計・用地買収 平成28年度：駐車場整備

新 ②計画的な都市公園管理へ「長寿命化計画」の策定 1,020万円 (P.246)

都市公園の計画的な維持管理や長寿命化対策の検討を行い、施設の機能保全と管理費用の縮減を図る。

新 ③都市公園「愛称看板」の設置 41万円 (P.246)

施設の利用促進と魅力アップを図るため募集したスポーツ施設の愛称（サブネーム）の看板を設置する。
※愛称決定時期：平成27年3月（予定）

IV 安全・安心のまちづくりの促進

快適な住環境の整備の促進

2,900万円

新

①市営住宅「堤団地」の大規模改修へ着手

900万円 (P.247)

弥栄町の市営住宅堤団地南棟は昭和58年の建築で築30年以上が経過、また北棟は昭和60年の建築で外壁や屋根の防水機能が低下しているため改修事業等を実施し、居住者の住環境の整備を図る。

※平成27年度：設計業務 平成28年度：工事着手（予定）

②スマート・エコ、子育て、バリアフリー住宅改修費助成金

2,000万円 (P.247)

住宅の省エネルギー化、子育てのための改修及びバリアフリー化を行う改修を支援し、環境への負荷が小さく快適で暮らしやすい住環境の整備を促進する。（平成27年度最終年）

※50万円以上の住宅改修経費が対象（補助率：1/10、上限額：10万円）

新

社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修等

1,044万円 (P.64)

平成28年1月の個人番号利用開始に向けて、社会保障・税番号制度に係る住民情報システムを改修し、情報連携への対応を図る。

※対象システム：住民基本台帳、税、団体内統合宛名、国民年金、児童手当等

拡

ケーブルテレビ11チャンネル番組内容の充実

2,774万円 (P.66)

市民生活や地域に密着した特集番組を増やす（月8本→月10本）とともに、外国人レポーターや翻訳ソフトによる多言語での市内紹介番組等を制作し、外国人居住者・観光客への情報提供、相互交流を進める。

※翻訳ソフト：総務省の社会実証事業を活用予定

拡

水洗化推進へ向け新たに「グループ補助」を実施

3,070万円 (P.162)

一般世帯（上限5万円）、高齢者世帯（上限20万円）の支援制度に加え、3件以上のグループ接続に対し補助金額を増額する「グループ補助」制度を創設し、更なる水洗化推進を図る。

※グループ補助例：3件以上（上限7万円）、11件以上（上限10万円）

IV 安全・安心のまちづくりの促進

④	大宮町森本地区の地籍調査の実施	1,498万円 (P.237)
---	-----------------	-----------------

山陰近畿自動車道の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、大宮町森本地区において境界確認及び測量業務を実施する。

※平成27年度は筆地調査へ着手

④	除雪機械の整備	4,900万円 (P.242)
---	---------	-----------------

大型除雪機械や地区へ貸与する小型除雪機械を購入し、除雪体制を整え冬季における生活道路の交通確保と市民生活の安全・安心を図る。

※業者用：更新3台 地区貸与用：更新1台、新規1台

▼支え合い、助け合う福祉のまちづくり

小項目 計 16億 6,049円

地域福祉の推進	4,978万円
---------	---------

①「暮らし」と「しごと」寄り添い支援事業	2,457万円 (P.114)
----------------------	-----------------

相談支援体制の充実、就労準備支援事業の実施により、就労困難者等の社会的、経済的自立を支援する。また、社会的居場所づくり事業を実施し、就労困難者等の支援強化を図る。

※社会的居場所づくり事業は、次の事業費で計上

IV 安全・安心のまちづくりの促進

新

②社会的孤立者等「居場所づくり」の提供

2,521万円 3月補正

家庭・職場・地域等に居場所がなく、社会的に孤立している方の居場所や活動を支援をする拠点を設け、自立相談支援員を配置し、社会的孤立者や生活困窮者の支援を行う。

○社会的居場所づくり拠点の整備

旧黒部保育所を改修（開所予定：平成27年10月）

改修内容：スロープ設置、トイレ改修、多目的ホール・事務室の空調化、パーテーション設置

○就労準備の支援

地域資源（農林漁業や企業）を活用した中間的就労（就労体験・簡易作業・内職作業等）の開拓・

創出・コーディネート業務

○自立相談支援員の配置（1人）

○維持管理経費

障害者福祉の推進

14億8,215万円

①障害者への福祉サービス給付

14億7,326万円 (P.120)

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付などの支援を行い、障害者福祉の増進を図る

②クリエイティブショップ「くりくり」の運営を支援

665万円 (P.122)

障害者施設製品の販売促進、障害のある方の就労意欲向上・社会参加のほか、多くの市民で支え合う仕組みづくりを目指すため、市内大型店舗に出店しているクリエイティブショップ「くりくり」の運営経費の一部を支援する。

新

③「ほっとはあと製品交流大会」（仮称）の実施

120万円 (P.122)

全国の「障害者施設製品販売所」等の事業所が集い、障害者雇用とより付加価値の高い製品づくりに向けた情報交流等を図るとともに、障害のある方が制作した製品や作品等を多くの方に知って頂き障害のあるなしにかかわらず交流を深める大会の支援を行う。

IV 安全・安心のまちづくりの促進

拡

④障害者の職場実習促進と雇用促進を支援

104万円 (P.122)

障害者職場実習制度において、職場実習生への奨励金支給を拡充するなど更なる実習制度利用の促進を図ることにより就労体験の環境整備を行い、一般就労への移行を目指し、自立及び社会参加の促進を支援する。

高齢者福祉の推進

3,682万円

新

①地域のつながりの推進「絆ネット」を構築

260万円 (P.116)

一人暮らしの高齢者世帯等の増加、地域での人と人のつながりの希薄化が進む中、誰もが住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らせるよう、地域のつながり、多様な機関、団体による絆ネットワークを構築する。

②敬老会事業の実施を支援

2,538万円 (P.123)

高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に対して感謝するため、行政区等の団体が行う敬老会事業の実施を支援する。

※対象：132団体、11,749人（平成26年10月1日現在）

③高齢者の生きがいづくり 老人クラブの活性化を支援

884万円 (P.124)

老人クラブの活動に対して助成を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。

※対象：100クラブ、会員2,553人（平成26年4月1日現在）

第3次京丹後市地域福祉計画の策定

83万円 (P.114)

第3次京丹後市地域福祉計画（平成29年度～平成33年度：5か年）の策定に向けて、市民アンケートを実施し、地域の現状と課題を把握する。

※アンケート：2,000人

IV 安全・安心のまちづくりの促進

消費税率引上げによる国の支援策 「臨時福祉給付金」 9,091万円 (P.115)

消費税率の引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対し臨時福祉給付金を支給する。
※支給対象者：6,000円/人 支給開始時期：10月（予定）

▼参加と協働でいきいきと活躍できる環境づくり

小項目 計
2億1,985万円+α

拡 移住・定住促進対策 4,009万円

新 ①移住・定住のきっかけとなる「お試し住宅」の整備 1,160万円 3月補正

移住希望者が気軽に立ち寄り、宿泊できる施設として空き家を活用した「お試し住宅」を整備し、移住・定住の促進を図る。
※お試し住宅整備 2棟（予定）

新 ②「移住・定住支援員（仮称）」の配置 175万円 3月補正

移住希望者へ空き家情報を発信し、地域とのコーディネートを行う「移住・定住支援員（仮称）」（1人）を設置し、都市部などからの移住者の拡大と受入相談体制等の充実を図る。

新 ③活用可能な“空き家”の状況調査 62万円 3月補正

市内全戸を対象とした空き家状況調査を実施し、活用可能な空き家を把握するとともに、移住・定住施策に活用する。

新 ④「空き家情報バンク」のリニューアル 389万円 3月補正

ホームページ上で空き家情報を自由に閲覧できる空き家情報バンクシステムをリニューアル（改修）し、移住希望者の利便性を高め、移住の促進を図る。

IV 安全・安心のまちづくりの促進

新

⑤ “京丹後花月” の開催

350万円

3月補正

活力ある地域づくりと定住促進につなげることを目的に「京丹後花月」を開催する実行委員会の活動を支援し、地域のにぎわい人材の発掘や地域の元気を発信する。

新

⑥ 「地域おこし協力隊員」招致による移住促進と地域活性化

1,213万円

(P.58)

地域外の人材を誘致し定住化を進めるとともに森林整備の人材を確保するため「地域おこし協力隊員」を募集（3人予定）し、豊かな森林資源を活かした林業の振興と地域活性化を目指す。 ※活用期間(予定)：平成29年度までの3年間

⑦ 移住促進と空き家改修支援への補助金

660万円

(P.59)

本市への移住・定住を推進するため、京都府の「明日のむら人移住促進事業」を活用し、地域の団体等が行う移住者の受入組織づくりや、空き家改修等に対して補助金を交付する。

くらしのための情報発信の充実

406万円

① 日常生活に役立つ「くらしの支援ガイド」を発行

296万円

(P.49)

市民のくらしを支援するため、市民の日常生活に関わりの深い、子育てや福祉事業、就学・就職、医療などの助成制度や負担軽減制度を掲載した「くらしの支援ガイド」（H27版）を発行する。 ※発行予定：22,300部

新

② 「広報きょうたんご おしらせ版」音訳サービスの実施

110万円

(P.49)

視覚に障害のある方の福祉の向上、まちづくりへの積極的な参加をより一層促進するため、新たに「広報きょうたんご おしらせ版」の音訳サービスを実施する。 ※おしらせ版：月2回、対象者：約50人

IV 安全・安心のまちづくりの促進

拡	国際交流・多文化共生の推進	331万円	(P.56)
---	---------------	-------	--------

「京丹後市多文化共生推進プラン」（平成27年3月策定予定）を基に、幅広い分野における国際交流を推進し、多文化共生社会を実現するため、京丹後市国際交流協会の活動を支援する。

婚活事業を積極的に支援	387万円
-------------	-------

新	①少子化対策推進事業	50万円	3月補正
---	------------	------	------

京丹後市の少子化・未婚化等に対応するため、市内の独身者の婚活支援を目的に、婚活イベントを開催する団体を支援する。

新	②地域少子化対策・婚活支援を行う「婚活支援センター」の支援	229万円	(P.59)
---	-------------------------------	-------	--------

世話やし隊、婚活サポート企業の募集登録及び協力体制の構築、結婚希望者の登録、専用ホームページの維持管理等、市内の独身者を対象とした婚活支援事業を実施する「婚活支援センター」の運営を行う京丹後市社会福祉協議会の活動を支援する。

新	③出会いと交流の場を提供「婚活イベント」を開催	108万円	(P.59)
---	-------------------------	-------	--------

婚活事業の実績のある関西のエンターテイメント企業とタイアップし、市内で婚活支援を実施している団体等と連携しながら、市内の独身者に出会いと交流の場を提供するための婚活イベントを開催する。

IV 安全・安心のまちづくりの促進

「夢まち創り大学」など大学との連携

1,769万円 + α

①「域学連携」地域活力創出モデル実証事業への支援

1,640万円 (P.60)

地域連携にノウハウのある大学と協働し、地域課題の発見・分析・解決や地域活性化の方策を探るとともに、継続的かつ戦略的な大学と地域の連携体制のモデルの構築を図る。 ※連携大学：5大学 (平成25年度からの3か年事業)

②「夢まち創り大学」の本格的な運営

未 定

追加補正

「夢まち創り大学」を本格的に運営するため、さまざまな取り組みを加速させる。

○専門委員(1人)の設置

○夢まち創り大学の運営を支援(補助金交付)

学生送迎、コーディネート、学生シェアハウス、ワークショップ開催など

③慶応大学との連携による地域資源活用ビジネス創出

129万円 (P.223)

地域の活性化及び人材育成に関して、実績のある慶応義塾大学と本市内の地域連携により、コミュニティビジネスの検討と創出に向けた活動を実践する。 ※平成25年度～平成27年度

地域が取り組む「コミュニティビジネス」創設を支援

1,060万円 (P.62)

さまざまな地域課題に対し、ビジネスの手法を用いて解決を図る「コミュニティビジネス」に新たに取り組む地域活動団体等を支援する。 ※補助率：3分の2(上限200万円)

IV 安全・安心のまちづくりの促進

地域のにぎわい活性化に向けた取り組み

1億1,187万円

①市民等の主体的な取り組みを支援する

市民力活性化推進プロジェクト事業補助金

250万円 (P.68)

市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図るため、地域の活力向上や課題解決に向けた取り組みを行う団体などの活動を支援する。

②各市民局長権限で交付する 市民協働のまちづくり事業補助金

1,600万円 (P.68)

地域コミュニティ活動の充実及び強化を図るため、地区等が行う地区所有施設の整備や村づくり・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付する。 ※各市民局長により交付

③地域コミュニティ活動の拠点となる 地域の集会施設整備を支援

5,486万円 (P.69)

地域コミュニティ活動の充実及び強化を図るため、活動の拠点となる地区所有の集会施設等の整備を支援する。
※交付予定：3地区（新築2、修繕1）

④袖志地区「ふれあい広場」の整備を支援

1,000万円 (P.86)

地区住民等の生活の安定及び福祉の向上を図るため、丹後町袖志地区が行う「ふれあい広場」（コミュニティ広場）整備を支援する。 ※平成26年度からの継続事業

⑤市民と行政との協働推進 「地域のにぎわい創り推進員」の配置

2,835万円 (P.70)

地域の特性や特徴を活かしつつ、市民との協働による地域自治活動等の活性化を推進し、にぎわいの創出、また、良好な地域社会の形成及び振興を図るため、各市民局に「地域のにぎわい創り推進員」を設置する。 ※各市民局：2人体制

IV 安全・安心のまちづくりの促進

新

⑥「協働」の意識づくりの促進に向けた「協働セミナー」等の開催

16万円 (P.74)

協働の意識づくりの促進と協働事業実施による地域づくりの核となる人材育成を図るため、市民等に対し協働に対する基調講演と協働セミナーを開催する。 ※予定：基調講演1回（5月中下旬） セミナー3回（6月以降）

新

「ふるさと応援」寄附金の増額及び市特産品の贈呈

347万円 (P.62)

自主財源の増加や特産品PR・販路開拓を図るとともに、京丹後市を一層応援してもらうため、新たに寄附者へ市の特産品を贈呈する。 ※1万円以上の寄附者に特産品を贈呈（希望者のみ）

拡

花いっぱい運動の促進

2,250万円 (P.61)
(P.83)

本市の豊かな自然環境を活かし河川沿いに木や花を植樹・植栽するなど、市民とともに花いっぱいの運動を推進していくことにより、観光振興や地域の活性化に繋げる。

拡

”すべての女性が輝く社会”へ
「第2次男女共同参画計画」を策定

239万円 (P.108)

第1次男女共同参画計画期間の終了に伴い、平成26年度に実施した市民意識調査結果等を参考に”すべての女性が輝く社会”を目指した第2次男女共同参画計画を策定する。 ※計画期間：平成28年度～平成37年度（10年間）

項目合計 32億 6,175万円

■ 持続可能な行財政基盤の構築

▼ 「幸福」を中心軸に据え総合計画の実現に向けた行財政運営

- | | | |
|--|----------------------------------|---|
| 新 | 「市民幸せ度アンケート」など
幸福度指標の調査と施策の点検 | 173万円 (P.61) |
| 幸福度指標を活用した施策点検を行うため「市民幸せ度アンケート」を実施し、調査結果に基づき幸福のまちづくり研究会により幸福度指標の分析・評価を行う。
※アンケート調査：3,200人（16歳以上） 平成27年6月頃実施予定 | | |
| 新 | 「京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業推進 | 307万円 3月補正 |
| 「京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し、産官学金労等で構成する組織からの意見を反映した推進、数値目標の進捗管理やPDCAサイクルによる施策・事業の効果検証を行う。 | | |
| 新 | 市議会議員への「政務活動費」の創設 | 396万円 (P.41) |
| 京丹後市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、政務活動費を交付する制度を新たに創設する。
※一人当たり月額15千円以内（年額18万円以内、議員数：22人） | | |
| 拡 | 物品等の“電子入札”対象を拡大 | 436万円 (P.47) |
| 効率的・効果的な入札事務を図るため、新たに物品等の供給及び役務の提供に係る入札も電子入札へ移行するなど、全国に先駆けICカード方式とIDパスワード方式をあわせた電子入札を推進する。 | | |

■持続可能な行財政基盤の構築

庁舎再配置の推進

843万円

①

①弥栄庁舎（市民局）の移転

814万円 (P.55)

「弥栄保健福祉センター」施設を改修し、新しい弥栄庁舎（弥栄市民局）として活用する。（平成27年7月：供用開始予定）

※改修工事は平成26年度補正予算で計上済

②

②本庁舎整備に向けた「市役所本庁舎整備検討委員会」の設置

29万円 (P.55)

市民の利便性の向上及び更なる効率的な行財政運営を推進するため、本庁機能の集約化及び本庁舎の整備について、「京丹後市役所本庁舎整備検討委員会」を設置し具体的な検討を行う。 ※検討委員会（20人以内）：平成27年2月設置

③

行財政改革へ「補助金等審査会」（仮称）の設置

16万円 (P.55)

「補助金等に関する基本方針」（平成25年9月）に基づき、個々の補助金等の成果及び必要性を評価し、改廃を含む見直しについて審査するため審査会を設置する。

※審査会には、有識者・市民など5人程度の外部委員も委嘱予定

④

公務品質の向上推進

341万円 (P.63)

民間人材の支援を受け、業務改善、公務能率の向上など、質の高い行政サービスを進めるとともに、峰山庁舎に総合窓口案内担当者（臨時職員）を置き、来庁者に親しまれる市役所づくりを推進する。

項目合計 2,512万円